

令和4年度 第4回 静岡市上下水道事業経営協議会 会議録

1 日時 令和4年12月12日(月) 13:30~16:00

2 場所 静岡市上下水道局庁舎 7階71会議室

3 出席者

(1) 委員(五十音順、敬称略) 11人出席/12人全体

馬居委員、狩野委員、塩野委員、鈴木(拓)委員、鈴木(学)委員、高木委員、高松委員、永野委員、橋本委員、初芝委員、横澤委員

(2) 上下水道局職員

森下公営企業管理者、服部上下水道局長、榎原局次長兼水道部長、望月下水道部長、星野水道技術担当部長、柴経営企画課長、山内水道総務課長、森本お客様サービス課長、藤田参与兼水道基盤整備課長、森田参与兼水道管路課長、稲葉水道施設課長、浅井水質管理課長、石野水道事務所長、川越清水水道施設担当課長、小塩葵北水道施設担当課長、瀧戸水道維持担当課長、川口下水道総務課長、大石参与兼下水道計画課長、石原下水道建設課長、大石下水道維持課長、戸塚下水道施設課長、石田下水道事務所長、難波浄化センター担当課長

(3) 協議会事務局職員

柴経営企画課長、大石参与兼下水道計画課長、外6名

4 傍聴者3人(報道2社)

5 内容

(1) 開会

(2) 報告

① 令和4年台風第15号による被害と今後の対応について

資料5 令和4年台風第15号による被害と今後の対応について

《質疑応答》

[横澤委員]

清水区で多くの方が浸水の被害を受けたが、「清水区の浸水は大谷川放水路を閉めた影響」という噂がある。誤解ならしっかりと発信した方がいいと思う。

[大石下水道計画課長]

大谷川放水路は静岡県が管理している。県からは適切な水位になったときに水を流すように運用したと聞いている。

[高木委員]

資料5の7ページの浸水被害状況はどのように調査したのか。実際はもっと多くの浸水被害があったのではないか。

[大石下水道計画課長]

浸水被害の件数は、罹災証明を基に掲載している。全体的な浸水状況は現在検証中で、今後降雨

のシミュレーションを実施し、被害箇所などを確認していく。その中で地図に落とし込んでいる「浸水被害発生箇所」も今後増えてくると思われる。

(3) 議事

① 次期下水道使用料について

協議会意見書の提出

資料1 静岡市下水道使用料に係る意見書(案)

[鈴木会長]

前回の協議会では、委員の皆さんから次期下水道使用料について御意見をいただいた。それを踏まえ、私の方で意見書の案を作成した。事前に委員の皆さんにも御確認いただき、頂いた意見を反映したものが資料1となっている。

こちらをこれから協議会として提出するが、今一度皆さんに御確認いただきたい。

(一同異議なし)

[鈴木会長]

それではこちらを提出する。

② 静岡市上下水道事業経営戦略の改定について

資料なし(事務局からの説明のみ)

[事務局]

第3回の経営協議会では経営戦略の概要版をお示しし、そちらについて御意見を頂戴した。

本来であれば皆さまからの御意見を踏まえ、この場でブラッシュアップしたものをお示しする予定だったが、令和4年台風第15号が事業に及ぼした影響を踏まえ、改めて登載内容を整理し、追加・修正などを行っている。

年内には案を作成し、パブリックコメントも実施したいと考えているので、また日程などが決まり次第、委員の皆さまにも御案内と資料の送付をさせていただく。

④ 第5次静岡市上下水道事業中期経営計画の策定について

案提示及び意見聴取

資料2 第5次静岡市上下水道事業中期経営計画(案)

資料3 第5次静岡市上下水道事業中期経営計画(案) 登載予定事務事業一覧

資料4 【資料2:6-5 事務事業個票 記載例】

〈質疑応答〉

【6-4 施策個票】

[永野委員]

例えば3ページの水道管の減災対策では、矢印で18ページを案内していて、他の施策個票もすべて偶数ページを案内している。施策個票で疑問が生じた際には、事務事業(主に奇数ページ)を見ないと分からない場合があるため、偶数ページではなく奇数ページに案内した方がよいのではないか。

[事務局]

成果指標が掲載されている箇所を案内していたが、成果指標以外もの箇所も見ていただく必要があるので、見開きのページ数を記載するなど検討する。

【6-5 事務事業個票】

【政策1 施策(1) ③下水道管の地震対策】

[永野委員]

成果指標における文言の「工事に係る」の意味はなにか。

[大石下水道維持課長]

耐震性能を確認し、耐震性能が無いものに対して工事を行うため、工事対象箇所だけを指標として設定している。

【政策1 施策(2) ②内水ハザードマップの周知】

[高松委員]

市政出前講座は、具体的にどのような場所で行うのか。

[大石下水道計画課長]

主に生涯学習交流館を予定している。また、要望に応じて学校などでも実施する。

[高木委員]

ハザードマップはどこでもらうことができるのか。個票の中にどこで配布されているかが記されているといい。

[大石下水道計画課長]

生涯学習交流館や下水道計画課でお配りしている。記載について承知した。

[横澤委員]

市政出前講座は「要請により実施」と記載があるが、要請しなければ実施しないのか。

[大石下水道計画課長]

浸水が発生するおそれがある地区に対しては、こちらから生涯学習交流館へ働きかけをしていく。また、個別に自治会などから要請があれば実施していく。

[大石下水道計画課長]

内水ハザードマップについての補足だが、ハザードマップは各区に分かれて作成している。必ずしも今回の雨とハザードマップ内で想定した降り方が一致しているわけではない。また、今回の台風では川がほとんど満水だったため、洪水ハザードマップと一緒に見ないと情報が不足する部分がある。減災につなげる1つのツールとして見てほしい。

【政策1 施策(3) ①事業継続に必要な応急体制の充実】

[狩野委員]

事務事業個票を見ると他団体の記載はあるが、自衛隊への派遣要請はどのように考えているか。

[山内水道総務課長]

基本的には水道部は日本水道協会と連携を取っている。自衛隊は市の災害対策本部が取りまとめて要請するため、記載していない。

[高木委員]

今回の台風で市民の関心も高まっているため個票の中で、「実際に何をしてくれるのか」ということが具体的に書かれていると分かりやすい。

[山内水道総務課長]

検討する。

【政策2 施策(1)②水道施設の更新】

[永野委員]

35 ページ内の写真でメーカーの名前が入っているので、消すなどの対応をした方がよい。

[水道基盤整備課長]

修正する。

【政策5 施策(2)①企業債残高の適正な管理】

[永野委員]

水道事業について、企業債残高は増加するような記載となっているが、増やしていかないと経営が立ち行かないとの想定か。

[柴経営企画課長]

水道事業は収入に対する企業債残高が 4.4 倍と政令指定都市中下から 2 番目である。維持管理、老朽化対策に必要な投資のため水道料金の見直しと合わせ見極めるとともに、将来に過度な負担がかからないように企業債の充当率の引き下げなどに取り組んでいくこととしている。

以前の経営戦略に示していた企業債残高の額より圧縮するよう検討しているが、増やさざるを得ないというのが現状である。

[鈴木会長]

企業債残高は将来の借金である。当初より圧縮して減らしているとはいえ、現在より増やすということが妥当であるかは十分に検討していただきたい。

[狩野委員]

コラムに補てん財源の記載があるが、その運用などは行っているのか。また、利率のことは考慮しながら運用しているのか。

[柴経営企画課長]

債権購入などの短期・長期の運用に利用し、運用益を得ている。

地方公営企業法で、預金等のお金は最も確実な方法で保管する義務がある。リスクがある運用はできかねるため、自治体や国の機関の債権を 2 億円購入している。一番高いところで 0.5% の運用利益を上げている。長期債券だけでなく、残高の状況により超短期での運用もして、新たな財源の確保に努めている。

[高木委員]

企業債とは利息を払うものなのか。

[柴経営企画課長]

借入金のため、利息は発生する。

政府系の金融機関から借り入れを行っていて、今期では、30 年で 20 億円、利率が 0.7% の借り入れを行っていて、年毎に利率が異なっている。

最近では、政府から政令指定都市は市中銀行から借り入れるよう言われているが、民間は長期 (30 年) では貸してもらえないため、直近では静岡信用金庫から利率 0.07% で 10 年の借り入れをしている。

[高木委員]

運用による利益があまり生じないなら、繰り上げ返済をしてもいいのではないかと感じる。自分のお金のように大切に使って欲しい。

【6-6 横断的取組】

【組② デジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進】

[高松委員]

デジタル化を推進する中で、DX人材の不足が課題として考えられるが、すでに職員育成は行っているのか。

[柴経営企画課長]

市長部局を含めてDX人材の育成は課題である。全国で自治体と民間企業の技術のマッチングが行われるようになってきてはいるものの、現状では人材を育てるところまでは至っていない。

〈連絡事項（事務局）〉

資料6 第3回協議会議事等にかかる御質問・回答、御意見まとめ

資料7 第3回協議会「静岡市上下水道事業経営戦略の改定について」に係る御質問・回答、御意見まとめ

資料8 上下水道局令和5年度予算編成方針について

資料9 第5次静岡市上下水道事業中期経営計画（案） 意見記入用紙

資料10 第4回経営協議会 意見記入用紙

[事務局]

資料9及び資料10は、令和4年12月22日（木）までに事務局宛て提出いただきたい。

（いずれの資料も記入は任意、提出は必須）

確認

静岡市上下水道事業経営協議会会長

(署名) 鈴木 学

